

令和5年度 都立本所高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」「読むこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習、週末課題の充実 ・主体的・対話的な学びを取り入れた授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、発言できる授業の実施 ・考えたことを適切に表現できる発問の工夫
地理歴史	個々の歴史的・地理的事象の関連を理解し表現する能力を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的・地理的事象の関連が理解できる授業の実施 ・授業のなかで、生徒が【書く】【表現する】機会を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的・地理的事象を今日的な課題と関連づけて考えさせる ・外部の博物館等で地理歴史に関する文化財等を見学し興味や関心をはぐくむ
公民	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方 ・現代の諸課題を多面的・多角的に考察 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの問題分析会を実施 ・現実の問題を教材として問題解決について考察する活動を取り入れた授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・税務署や税理士会と連携した租税教室の実施 ・社会問題を主題とした作文コンテストへの応募
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、見通せる授業の工夫 ・問題解決の過程において、論理的考察に重きを置ける授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返ったり、周りの生徒との議論を通じ考察を深められる授業の実施
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目で大学入学共通テストの問題分析会を実施 ・科学的な思考力を養うための活動を各授業内において実施。 ・実験を通して論理的に考察する活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部施設を活用した課題の企画、実施 ・ICT端末を活用し、生徒一人一人での発表活動等を取り入れた授業の実施 ・日常生活と関連した問いに関する授業の実施
保健体育	「体力向上」「主体的授業計画実施」「プレゼンテーション」の指導の充実	<p>体育実技授業の導入の中で補強運動を1年生から3年すべてにおいて実施</p> <p>自主的に練習計画を作成し、班活動の中心になりリーダーシップを発揮し実践する</p> <p>各個人のテーマを決め、知識を高め学んだことをクラス全員に理解させる(プレゼン)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツに繋がるように、自らが考え発展させる ・実践した授業の振り返りを行い、次の授業に活かせるよう用紙を提出させる ・ICT端末を活用し、プレゼンテーションを行い理解度を高める
芸術	生涯にわたり生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・個性豊かで創造的な表現に必要な知識・技能の習得 ・芸術を愛好する心情と豊かな感性を育むことを目指した活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術に関する見方・考え方を深める活動の充実 ・自己の作品を他者に伝えるプレゼン活動 ・文化施設・社会教育施設等の活用や外部講師を招いた取り組み
英語	「話すこと・聞くこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で模試の成績分析会を実施 ・各科目、学期に2回パフォーマンステストを実施 ・朝学習における速読教材の使用 ・上記を利用し、授業内5分間でリスニング活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・英検合格者数増加を目指すため補習講座開設 ・外国人とオンライン交流会の実施 ・オンライン英会話の取組を評価するためのルーブリックの開発・活用 ・TGG後に体験に基づくスピーチコンテストの実施
家庭	生きる力になる知識・技術の習得の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書選定時にQRコードから実践の動画を掲載しているものを選定 ・ICTを活用した教材を導入し、実生活に活用できる実習教材を導入 ・18歳成人に伴う契約に関する教材を導入 ・基礎縫いやペンケース教材を導入し基礎技術の定着を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習や実技試験の際は手順を動画をできるようにし家庭学習に活用可能 ・付属品のボタンなども活用し、ボタンの付け方やまつり縫い等を練習し、実生活に活かせる課題を作成
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する科学的な見方・考え方を重視する。 ・情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付ける。 ・情報社会に主体的に参画する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得する。 ・情報社会と人との関わりについて理解を深める。 ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養い、情報社会に主体的に参画する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習に結び付く情報デザインの考え方を実践する。